

令和6年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

かほく市立宇ノ気中学校

校長 本山 久美子

1 経営理念

- (1) 学校は、基礎・基本の定着と活用力の向上を図り、主体的に学ぼうとする態度を育成する場である。
- (2) 学校は、組織的な取組で生徒の「人間力」を育成する場である。
- (3) 学校は、健康・体力向上への意識を高め、積極的に挑戦する場である。
- (4) 学校は、安全で美しく整備され、生徒が生き生きと自ら活動できる場である。
- (5) 学校は、地域に根ざし、生徒・保護者・地域に信頼される場である。

2 教育目標

知性と創造力に富み 人間性豊かな たくましい生徒の育成

3 中・長期的目標

(1) めざす生徒像 * 自分の考えを積極的に表現する生徒

- ①自ら学び自ら考え、向上心を持って意欲的に取り組む生徒
- ②互いに尊重し、思いやりと豊かな心を持って行動する生徒
- ③集団生活での規範意識を持ち、責任を持って行動する生徒
- ④健やかに生きる体力や健康づくりに積極的に取り組む生徒
- ⑤郷土の自然や文化に親しみ、地域を愛する生徒

(2) めざす教師像 * 情熱と使命感を忘れない教師

- ①生徒の成長を願い、強い情熱と使命感を持つ教師
- ②教育の専門家として自己研鑽に励み、確かな力量を持つ教師
- ③組織の一員としての自覚をもとに、協力して職務を遂行する教師
- ④生徒・保護者・地域から信頼される、豊かな人間性を持つ教師

(3) めざす学校像 * 楽しい学校・学級

- ①生徒が生き生きと活動する、さわやかな活力ある学校
- ②安全・安心で、一人一人の生徒の居場所のある学校
- ③保護者や地域に信頼される学校

4 学校の現状

(1) 学習面について 学校課題1 学力向上対策

- ・「授業では、自分の考えを積極的に表現できていますか」の質問について「当てはまる」と答える生徒は増えているものの「積極的に挙手発言をする意識」「自由に発言できる学級の雰囲気」には課題がある。学級経営を充実させ「学習指導」と「生徒指導」の両輪をしっかり回し、授業改善、授業力向上に向けて取組を進めていく。
- ・「協働的な学び」を通して、生徒が自分に合った方法（学ぶ道具・学ぶ方法・学ぶ形態等）を選択し、主体的に学ぶことができる生徒を育てるために、授業力向上を目指した

校内研修を充実させ、要請訪問の実施や研修の参加等を継続していく。

- (2) 生活面について **学校課題2** 不登校・いじめ対策 + ソレイユの効果的な運用
- ・重点目標として「時を守り、場を清め、礼を正す」ことについて、学年や生徒会等で取組を進めている。生徒アンケートでは、「時間を守ること・黙働清掃をすること・その場に応じた挨拶をすること」は高い評価結果となっている。引き続き、生徒の良い姿や成長している点を認め、褒めることを大切にしながら、温かな集団づくりに繋げていく。
 - ・不登校生徒の「居場所（学びや活動の場）」として、今年度設置した「ソレイユ（校内教育支援センター）」を、全教職員で共通理解し運用する。また、教育相談員やSC、市教育センターとの連携をより一層強化し、不登校生徒や保護者へのきめ細かな支援をする。
 - ・「いじめはどこでも誰にでも起こりうるもの」として全教職員が認識して、未然防止、早期発見、組織的対応をする。また、毎月の定期相談やいじめ調査、i-checkなどの取組を通して、生徒理解に努めるとともに、授業改善や生徒主体の活動を推進し、「魅力のある学校づくり」を目指す。

5 カリキュラム・マネジメント（短期目標）

(1) カリキュラム・マネジメントの柱

自分の考えを積極的に表現する生徒の育成

(2) 現状

「自分の考えを積極的に表現できているか？」（生徒アンケートより）

R4年度	◎7月調査：93%（64%）	◎12月調査：91%（52%）
R5年度	◎7月調査：92%（49%）	◎12月調査：93%（49%）

<根拠>

- ・真面目な生徒が多いが、受け身の授業態度が見られ、良い考えを持っていても表現（話す、書く等）することが苦手な生徒が多い。
- ・教員の仕掛け等の工夫により、言い切りの数値を上げたい。
- ・教科、学級活動、生徒会活動、部活動等、教育活動全体で取り組んでいきたい。

(3) 取組内容

- ・カリ・マネの柱に基づいた「教科におけるめざす生徒像」を設定し、教科の共通実践を意識した授業づくりを行う。
- ・生徒会活動や学校行事など日々の教育活動において、生徒が力を発揮できる場を意図的に設定し、全校集会やお昼の放送、ホームページや便りを活用し成果を発信する。
- ・これまで以上に、地域環境の「ひと・もの・こと」を積極的に活用する。
- ・各種調査結果やデータ等を分析、検証することがカリ・マネのキーポイントとなることから、学校運営協議会委員、保護者の意見を反映させ改善する。

6 短期（今年度）経営目標と取組内容

魅力のある学校づくり

- ①組織的な学校運営 共通実践の徹底は組織力を最大限に引き出す
「共通実践は、組織の大きな武器となる」
- ②人間力の育成 自分を高める力、自分と向き合う力、他者とつながる力
「非認知能力を育む」
- ③質の高い教職員集団 ... 凡事徹底、率先垂範「当たり前」を当たり前」

<学校経営の重点目標>

★かほく市重点目標

(1) 学力向上に向けた計画的実践

- ①学力向上に向けた授業改善
 - ・深い学びを意識した授業改善（思考の流れ・生徒指導の4つの視点）
- ②校内研修の充実 ★
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた
「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ③GIGA スクール構想の推進
 - ・授業のねらい達成に向けたICTの効果的活用
- ④学力向上ロードマップに基づいた指導方法の工夫
 - ・国、県、市の学力調査結果の分析と有効活用、過去問の効果的活用

(2) 生徒指導の充実（自己指導能力の育成）

- ①積極的な生徒指導の推進
 - ・伸び伸びと過ごせる楽しい学校・学級づくり
 - ・「認めて」「褒めて」「伸ばす」指導の充実（集団の質向上へ繋げる実践）
- ②いじめ・不登校への適切な対応と安心できる居場所づくり ★
 - ・生活アンケートの効果的な活用、未然防止・早期発見・早期解決
 - ・社会的自立に向けた「ソレイユ（SSR）」の運用
- ③基本的な生活習慣を高める指導の徹底 ...「時を守り、場を清め、礼を正す」
 - ・時間を守る行動、黙働清掃、元気な挨拶等
 - ・生徒活動（生徒会や三役会）の活性化
- ④教育相談の充実（不登校への対応と未然防止）
 - ・月1回の計画的面談、スクールカウンセラーや関係機関との連携・協力
 - ・I-check（年2回）やエンカウンター等の積極的な取組
- ⑤特別支援教育の充実 ★
 - ・特別支援の視点を生かした環境設定や個別指導計画等を活用した指導の工夫

(3) 信頼される学校づくり

- ①安全教育の推進
 - ・防災教育の実践、防災意識の向上
- ②コミュニティ・スクールの充実
 - ・地域環境（ひと・もの・こと）の積極的活用
- ③積極的な情報発信と学校公開
 - ・ホームページ、学校・学年だより等の充実

(4) 教員の人材育成

- ①「若手教員早期育成プログラム」の計画的実践
 - ・学年会を基本とするサポート体制（学期に1回程度の定期懇談実施）
 - ・若手の要望に応じた校内研修の実施
- ②研修履歴を活用した資質向上

(5) 教職員多忙化改善に向けた取組の推進

- ①業務の効率化を図るための取組の推進

- ・前例踏襲主義からの脱却と新たな取組の推進
- ②部活動地域移行に向けた地域との連携 ★
- ・地域クラブ活動への移行準備